
Uコン少年の夢

春野一人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ロボン少年の夢

【NZコード】

N7235S

【作者名】

春野一人

【あらすじ】

模型飛行機が大好きな少年がいる。ゴム動力機からはじまって、ラジコンまで。やがて夢はもっと広がつて行く。その先に待ちかまえている不思議な世界がある。それは・・・。

お若い人には、ロコンと言つてもなんの事か解らないと思つ。それは模型エンジンを乗せた模型飛行機を、スチールのワイヤーで引っ張つて円形に飛ばす遊びだ。スチールは一本のワイヤーできていて、それが飛ばす人に繋がつてゐる。模型飛行機の片翼から操縦者の方に一本のワイヤーが20?ほど伸ばされていて、飛行機は円形の外側に向けて飛ぶようにあらかじめ垂直尾翼がきらわれている。模型飛行機はそれで、操縦者の20?ほど外側を周回することとなる。エンジンにコントロールはついていないで燃料が5分持つだけ積み込んである。飛行機にはアップ・ダウンの昇降舵がついていて、操縦者がワイヤーを通じて飛行機をコントロールする。

中学生になつた、山本は公園でビービー音を立てて、ぐるぐる回つてゐる模型飛行機を飛ばしてゐる人を見た。それまではゴム動力のライトプレーンにかなり夢中になつていた山本は、まるで本物のよくなそな飛行姿を見て、一目で惹かれてしまつた。

飛ばしてゐる人は、高校二年生で浅野さんという人だつた。その日から、山本は学校の授業中も模型飛行機の事を考えている不眞面目な中学生になつてしまつた。

親にねだつて、ロコンの操縦システム一式（おおげさな物ではない。ワイヤーと木でできた半円形のハンドルのセットだ）と排気量が0.9ccの模型マニアが「ゼロキュウ」と呼んでいるところの小さな模型エンジンとエンジン始動の為のバッテリーと充電器と初級者用の模型飛行機のキットを買つて貰つた。

山本は初級者用の棒のような胴体のキットをたちまち作り上げてしまつた。虫ピンと木工用ボンドと輪ゴムとサンドペーパーとキリと糊とはさみとサンダペーパーとナイフと工作のいくらかの経験があれば、簡単に作れた。山本少年は月刊誌の「子供の科学」を毎月買って、その本に載つてゐる箱形の銅をした模型グライダーの設計

図で、それをを作った事もあったのだ。しかしそれは、なんだかふにやふにやした、今テレビでやっている鳥人間コンテストの下らしい作品のようなで、手を離すとポートと落つてしまつのような失敗作であった。

飛行機をつくるだけではなく模型エンジンも飛ばす前に少し手を入れねばならないというのだ。自宅のある交差点のはす向かいに薬局と模型店をやっているおじさんがいた。その人がみんな教えてくれる。エンジンを、木のミカン箱に取り付けて、所定のプロペラよりも大きめのプロペラをつけて慣らし運転（ブレークインと言つた）しなければならないというのだ。模型エンジンにはグロープラグという、バッテリイで赤熱させる発火装置がエンジン頭部についている。それにバッテリーのコードをつなげて、プロペラを時計回りにはじいて始動させるのだが、反動が来てしたたかに指を打つ。初心者にはそれが難しいのだ。

だから軍手も必需品だ。燃料はメチルアルコールにグリセリンを混ぜた物だ。そうした煩わしさの後、エンジンはやつぱらぱらと回り出す。その回転をニードルという燃料調節のねじを廻して調節するのだ。慣らし運転はなるべく低回転が大切だ、それをひとけのない野原でやらねばならないのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7235s/>

Uコン少年の夢

2011年5月9日12時23分発行